

# 第4回 まつど未来シナリオ会議 次 第

令和元年9月21日(土) 13時~17時  
市民会館 301 会議室

## 1 開会

## 2 まつど未来シナリオづくり

- 1) 「2030年の日本における私たちの暮らし」複数シナリオ(案)の復習
- 2) 複数シナリオについてのワーク
- 3) シナリオプランニングの活用
- 4) 振返り

## 3 閉会

### 資料

- ・まつど未来シナリオづくり(第4回)

# まつど未来シナリオづくり (第4回)

松戸市総合政策部政策推進課  
委託先：株式会社スタイリッシュ・アイデア



## 今日の流れ

---

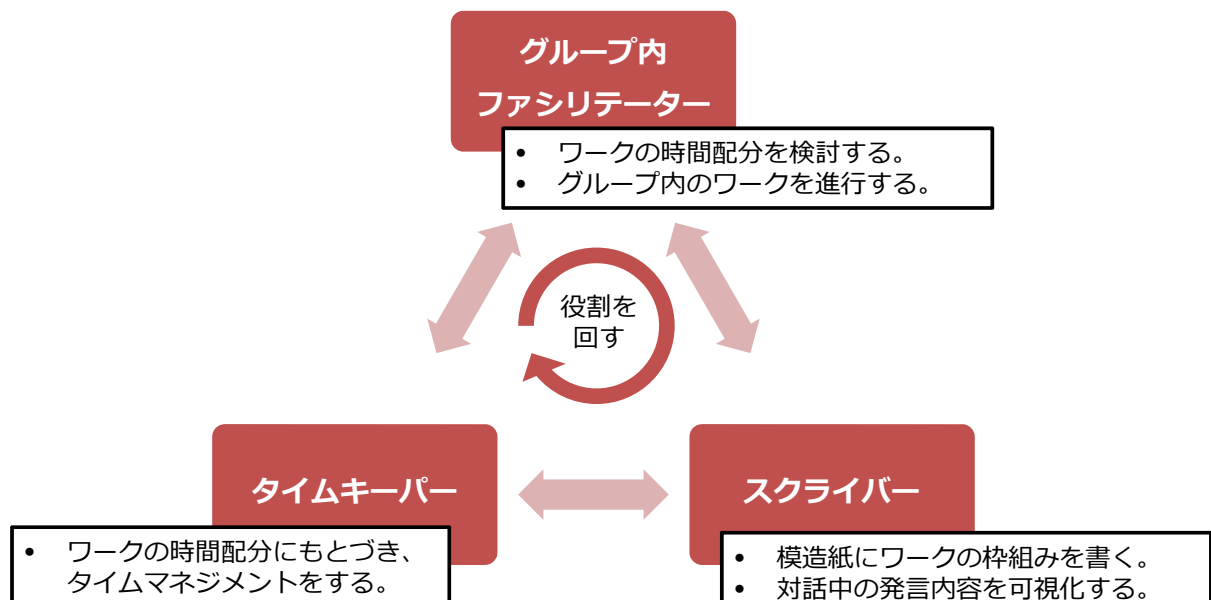
1. 「2030年の日本における私たちの暮らし」  
複数シナリオ（案）の復習
2. 複数シナリオについてのワーク
3. シナリオプランニングの活用
4. 振り返り

## チェックイン

1. 今日の気分・体調を教えてください。
2. 2030年の複数シナリオを思い出して、個人として今から取り組んでいこうと思ったこと。

## グループワークの役割分担

- ▶ 会議ではさまざまなワークを行います。グループの中で役割を交代しながら進めてください。



## ワーク中の話の終わり方

---

演習を終えるタイミングで私が手をあげます。

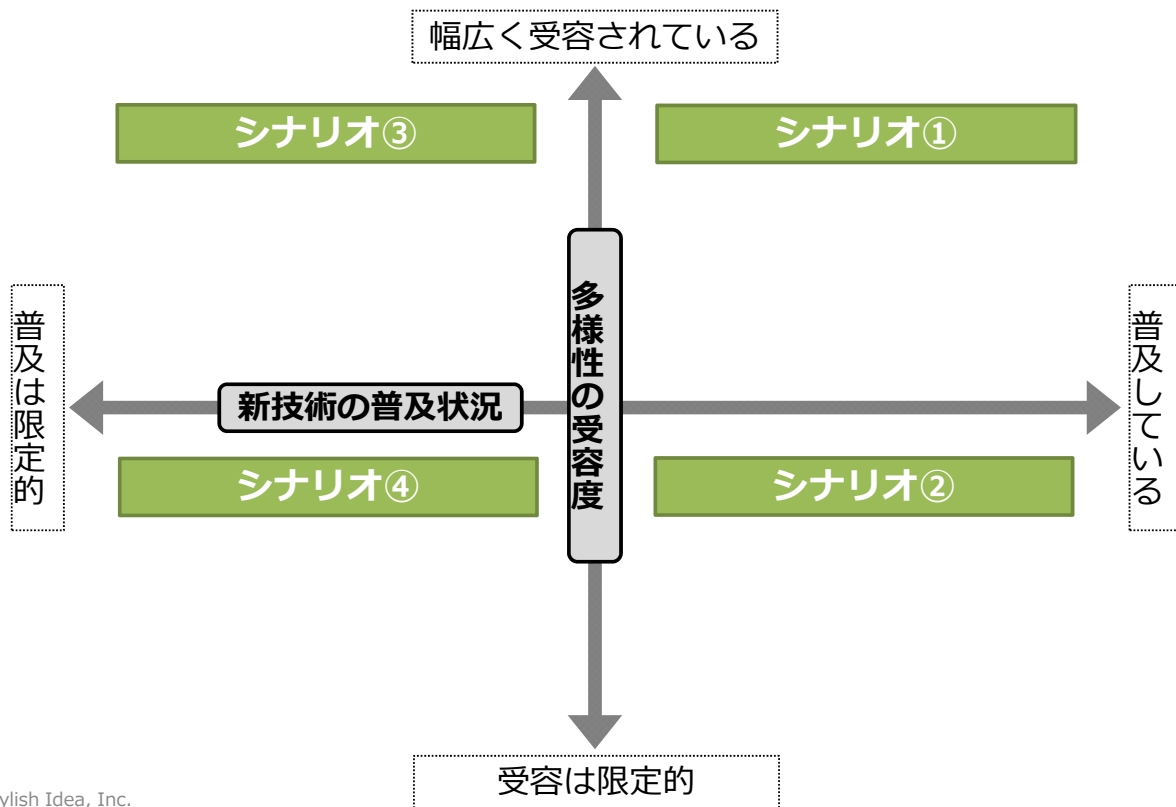
それに気がついた人は**同じく手をあげて、  
話しを終わりにしてください。**



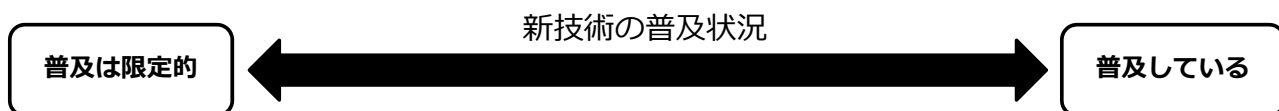
## **1. 「2030年の日本における私たちの暮らし」 複数シナリオ（案）復習**

---

# 「2030年の日本における私たちの暮らし」 複数シナリオ案



## 2030年、日本における新技術の普及状況は？



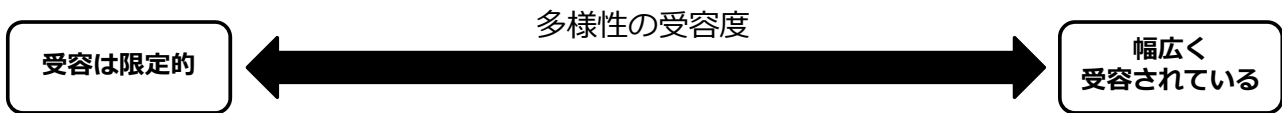
### 「普及は限定的」世界のイメージ

- 【サービス統合】 個々の技術は進んでいるものの、サービスとしての統合は十分に進んでいない。提供事業者が重点を置く地域や自治体の取り組みの差により、普及の程度に地域差がある。
- 【ユーザ利便性】 サービスごと、利用する端末ごとに使い勝手の違いがあったり、使えない場合もある。また利用コストの観点からも使いやすいものとはなっていない。

### 「普及している」世界のイメージ

- 【サービス統合】 個々の技術を活かすため企業間の製品・サービス連携や法制度の整備が進んでおり、つなぎ目のないサービス提供が実現されている。
- 【ユーザ利便性】 サービスごとに使い勝手が統一されており、技術に慣れていないユーザにとっても使いやすいものとなっている。また利用コストもメリットに見合ったものとなっている。

# 2030年、日本における多様性の受容度は？



## 「受容は限定的」世界のイメージ

- 【属性】 個人の属性の違いを尊重するための制度や仕組みは整っているものの、実際の暮らしではその違いが尊重されにくい社会となっている。
- 【行動】 働き方などの多様性を認めるための制度や仕組みは整っているものの、実際にはそれらを活用しにくい状況が残っている。

## 「幅広く受容」世界のイメージ

- 【属性】 個人の属性の違いにかかわらず、あらゆる人が暮らしやすい社会の仕組みが整備されており、それが幅広く受け容れられている。
- 【行動】 働き方などの多様性が制度としてだけでなく、幅広く受け容れられており、それぞれの人の状況に応じた選択をしやすい社会になっている。

## 2. 複数シナリオについてのワーク

## ワーク①：複数シナリオの松戸市への影響

- ▶ 「2030年の日本における私たちの暮らし」複数シナリオの各シナリオの内容が実現した場合、松戸市が受ける影響を考えてみましょう。
  - ▶ 浮かんだことを付せんに書きます。対応する「6つの切り口」もあわせて書いてください。
  - ▶ チャンスとリスクは、ものを見る切り口です。一見ポジティブに見える状態にもリスクはありますし、ネガティブに見える状態にもチャンスはあります。いろいろな切り口で考えてみましょう。

## ワーク①：複数シナリオについての対話

- ▶ A3用紙に以下のように書きます。

<b>シナリオ3 (左上)</b>
<チャンス>
<リスク>
(1班)

<b>シナリオ1 (右上)</b>
<チャンス>
<リスク>
(1班)

<b>シナリオ4 (左下)</b>
<チャンス>
<リスク>
(1班)

<b>シナリオ2 (右下)</b>
<チャンス>
<リスク>
(1班)

## ワーク①：6つの切り口の内容

切り口	含まれる要素
① 人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	協働・人権・男女共同参画・平和・行財政運営
② 子育て・教育・文化	子ども・子育て・教育・生涯学習・文化・国際交流
③ いきいきとした暮らし	高齢者・健康・医療・障害者・地域福祉・多文化共生
④ 街の魅力や居心地	都市整備・みどり・交通・住まい
⑤ 地域経済・働き方	経済活性化・商業・工業・農業・企業誘致
⑥ 安全・安心・快適な暮らし	防災・防犯・環境・消防・救急

## ワーク②：複数シナリオを元にしたニーズの検討

- ▶ 2030年の松戸市に住むみなさんのニーズを考えてみましょう。
  - ▶ まずは、みなさん個人の立場から考えつつ、みなさんの周囲にいるさまざまな人の立場にもなって考えてみてください。
  - ▶ ニーズは付せんに書きます。対応する「6つの切り口」もあわせて書いてください。
  - ▶ ニーズは大きく次の2つの観点で考えてみてください。ただし、この2つを明確に分けて考える必要はありません。

### マイナスをプラスに

- この世界で困りそうなことを考え「こうしてほしい！」と思うこと。

### プラスをもっとプラスに

- この世界で実現できそうなことを踏まえ「もっとこうなるといい！」と思うこと。



## ワーク②：複数シナリオを元にしたニーズの検討

- ▶ A3用紙に以下のように書きます。

シナリオ3 (左上) の  
ニーズ

(1班)

シナリオ1 (右上) の  
ニーズ

(1班)

シナリオ4 (左下) の  
ニーズ

(1班)

シナリオ2 (右下) の  
ニーズ

(1班)

## ワーク③：2030年に向けた取り組み

- ▶ これまでのワークを踏まえて、今から取り組んでおくと良いことはなんでしょう？
  - ▶ 取り組んでおくと良いことは付せんに書きます。対応する「6つの切り口」もあわせて書いてください。

### 考えるポイント

- 取り組みを行う実施者は、必ずしも松戸市に限りません。
- 誰が行うのかを考えるよりも、まずは取り組んだ方が良いと思うこと自体を考えてください。
- また、「こういうことに取り組んだ方が良いけど、今の松戸市/松戸市の事業者等では、その能力がない、あるいは人材がないから無理」だと思う場合も、その内容を書いてください。
- 取り組み内容とあわせて、「この取り組みを進めるために、こういう人材を育てることもあわせて行う」という内容も書いてください。

## ワーク③：2030年に向けた取り組みの検討

---

- ▶ A3用紙に以下のように書きます。

シナリオ3（左上）に  
備えて取り組むこと

(1班)

シナリオ1（右上）に  
備えて取り組むこと

(1班)

シナリオ4（左下）に  
備えて取り組むこと

(1班)

シナリオ2（右下）に  
備えて取り組むこと

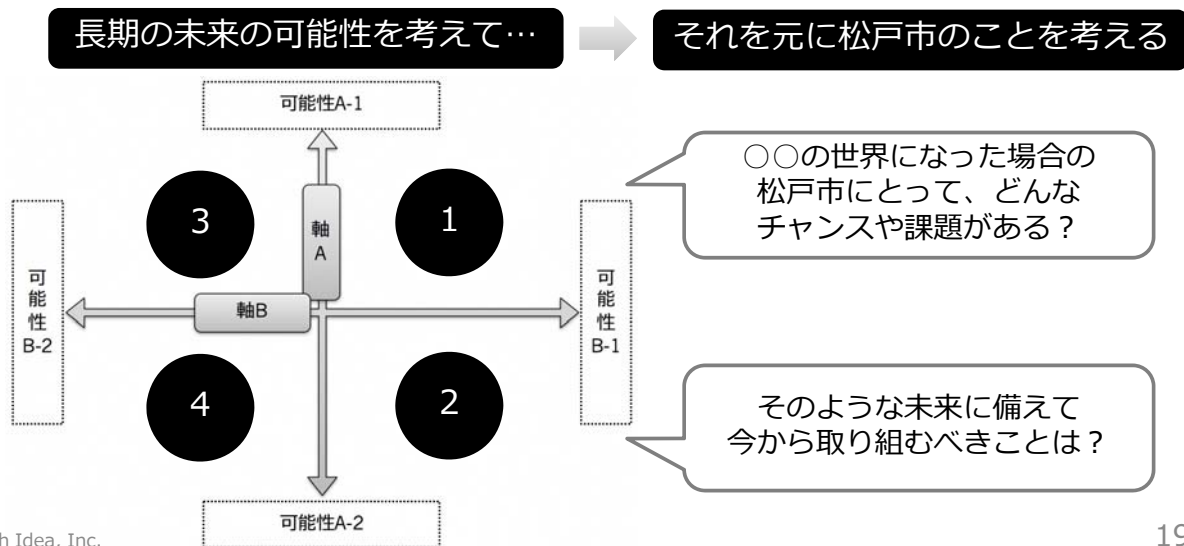
(1班)

## 3. シナリオプランニングの活用

---

## シナリオプランニングでの頭の使い方

- ▶ シナリオプランニングは what if…?(もし…になったらどうする?)を考え、**想定外のことに目を向ける**ものです。
  - ▶ そのため完成した複数シナリオを検討する際（図の左部分）では、普段は考えていないような可能性を検討します。

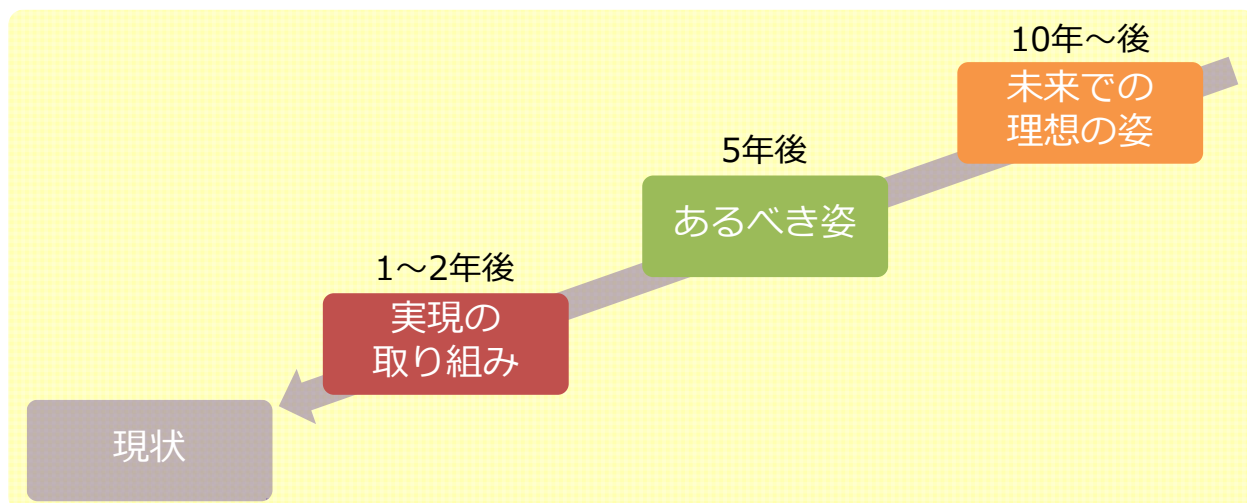


© Stylish Idea, Inc.

19

## シナリオの未来を元にしたバックキャストイング

- ▶ 検討した未来における理想の姿を思い描き、そこから逆算して、今から取り組んでいくことを考える。



© Stylish Idea, Inc.

20

## 4. 振り返り

---

### 今回の学びの活かし方

---

テーマ：今回の会議の結果を自分の仕事や生活で活かしていくために

Keep  
(続けること)

Discard  
(やめること)

Add  
(新たに始めること)

## まつど未来シナリオ会議 振り返りシート

お名前

『2030年の日本における私たちの暮らし』の未来シナリオづくりをとおして、気づいたこと、考えたこと、学んだこと等をおしえてください。

また、未来シナリオづくりをとおして、今後、松戸市において取り組んでいきたい、と思うことがありましたら、おしえてください。

会議に参加した感想等ご自由にお書きください。

～まつど未来シナリオ会議へのご参加ありがとうございました～